

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・本校の大きな課題である学力向上については、なかなか結果や手ごたえを感じるまでには至っていない。児童が「主体的・対話的」に学習に取り組める授業づくりを進めていくために、全校で共通した取組を徹底する必要がある。(語彙力・授業のふり回り・読書習慣など)
・委員会活動や他校児童、子ども園児との交流活動など、どの学年も人前で表現する場を設定することができた。今後は、教師主導の活動から、児童がやりたいことややるべきことを考えて計画・実践できるよう主体的な活動を仕組んでいく必要がある。
・来年度のコミュニティ・スクールでの土台作りとなる1年であった。コーディネーターを中心に、どの学年も地域の方との交流や施設・店舗見学ができ、学習の幅が広がっていた。さらに地域との連携を図るため、学校に足を運ぶ人たちを増やすためにどのようなことができるかを考えていく。

2 学校教育目標
気づき、考え、実行する子どもの育成 ～博愛の里 伸びゆくわれら 中小つ子～

3 本年度の重点目標
①学力の向上
②自己肯定感や自己有用感の醸成(きりり発見活動)
③地域連携(コミュニティ・スクール)

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目

Table with 5 main columns: 重点取組 (重点取組内容, 成果指標), 具体的取組, 中間評価 (進捗度, 進捗状況と見通し), 最終評価 (達成度, 実施結果), 学校関係者評価 (評価, 意見や提言). Rows include 学力の向上, 心の教育, 健康・体つくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進, 地域連携.

5 総合評価・次年度への展望
・教師主導の活動から、児童がやりたいことややるべきことを考えて計画・実践できるよう主体的な活動を仕組んでいくことで、児童の主体性については、成果が見られた。引き続き主体的に関わる取組を教育活動に位置づけて実践を積み上げていく。
・本校の特色ある教育活動を展開するために、目的を明確にした地域との連携を目指す。